

所報

題字：武田満之校長（平成9年、野幌中学校）

第131号 平成29年 6月 2日

江別市教育研究所所報

江別市高砂町24-6 TEL 381-1058
(主な内容)

- ・電子黒板研修会（転入）について
- ・小学校外国語活動・英語活動指導連絡協議会
- ・「走り方教室」について
- ・江別市教育研究所の主な事業について

平成29年度電子黒板研修会(転入)を開催

市内小中学校の全学級に配置された電子黒板を全ての先生方が使えるようになっていただくために、平成25年度から毎年電子黒板研修会を開催しております。

これは、主に江別市に転入された先生方を対象に基礎的な操作方法を中心とした研修となっております。今年度からICT教育支援員が主体となって運営しました。



平成29年度小学校外国語活動・英語活動指導連絡協議会

5月18日（木）に、今年度第1回の連絡協議会を開催いたしました。

委嘱状を交付後、渡部丈司教育研究所長(教育部長)の挨拶に続き、「設置要綱」の説明を行い、会長・副会長の選出を行いました。会長には、江別太小学校の杉本功校長、副会長には、大麻泉小学校の高橋秀人教頭が就任しました。

協議では、今年度の活動計画を確認するとともに、各学校における英語活動の取り組み状況を交流しました。

また、研修として新学習指導要領の「外国語科」と「外国語活動」の内容を学習し、今後の見通しなどについて意見交換をしました。授業時数の増加や指導内容の改訂など多くの課題があり、重要な年度になることを確認しました。

「走り方教室」～今年度は9校で開催



5月16日から26日にかけて、北翔大学の宮准教授や野幌中学校の浜崎教諭・川村教諭、大麻中学校の古山教諭の御協力を得て、小学校高学年を対象に「走り方教室」を開催しました。

今年度で3年目となり、多くの学校から希望がありました。日程の都合で9校の開催となりました。

参加した子どもたちからは、「私は今まで走るのが苦手でした。でも、走り方教室でいろいろ教えてもらったので、少し自信ができました。」「とっても足が軽く感じられました。徒競走やリレーも速く走れるように頑張りたいです。」「走り方教室で教わったことを生かして、運動会で1位をとりたいです。」などといった感想が聞かれました。

平成29年度江別市教育研究所の主な事業

江別市教育研究所は5月15日(月)に第1回所員会議を開催し、平成29年度の活動方針、活動内容について決定しました。

<平成29年度の主な事業>

1. 所員会議

年間6回の会議を行い、教職員の研修事業、調査研究事業を進めます。

2. 教職員研修

- 夏期セミナー：7月27日～8月2日に道立教育研究所をはじめ教育機関等から講師を派遣していただき、5日間10講座を開催し、各講座2時間30分程度の講義・演習を行います。
- 冬期セミナー：1月9日・10日の2日間4講座を夏期セミナーと同様に講師を招き開催します。

3. 調査研究報告書No.33号の発行

児童生徒、保護者、教職員を対象に生活・学習状況調査を行い、その結果を各学校や教育関係機関に配付します。小中学校9校にアンケート協力をお願いします。

4. 小学校外国語活動・英語活動指導連絡協議会の運営

- 会議開催、年間2回(5・2月)
- 研修会実施
 - (1) 夏期セミナー～模擬授業と講義
 - (2) 中学校授業参観①②～11月
 - (3) 小中交流会～12月
- 指導計画編集委員会

5. 「朝運動プログラム」普及出前授業

小学校3校で学校の要望を取り入れながら、北翔大学の朝運動プログラムを出前授業します。今年度は、いずみ野小学校、北光小学校、角山小学校ですが、北光小学校と角山

小学校は合同で実施します。

6. 所報の発行

教育長の挨拶、研究所事業の案内や報告、小学校外国語教育の推進と報告、学校課題発表の紹介、道研連研究大会の報告などの内容で、年間7回程度を発行して情報提供します。

7. 平成29年度江別市教育研究所体制

本年度は、下記の所員で運営していきますので、1年間よろしくお願いします。

役職	氏名	所属
所長	渡部 丈司	教育部長
副所長	伊藤 忠信	学校教育支援室長
副所長	高橋 秀明	東野幌小学校校長
所員	前田 真志	江別第一小学校教頭
所員	吉村 瑞穂	大麻東小学校教諭
所員	増永 利華	江別第三中学校教諭
所員	酒井 優	野幌中学校教諭
所員	長谷川 遼太	大麻中学校教諭
事務局長	宮野 光彦	教育研究所
事務局次長	須藤 繭子	学校教育課主任



後列左から：

宮野事務局長、長谷川所員、酒井所員、増永所員、吉村所員

前列左から：

前田所員、伊藤副所長、渡部所長、高橋副所長、須藤事務局次長